

社会政策学会 Newsletter

◇学会本部 大分大学 経済学部 石井まこと研究室
URL : <http://jasps.org> TEL : 097-554-7698 E-mail : mak@cc.oita-u.ac.jp
◇編集・発行 石井まこと(代表幹事) 岩永理恵・榎一江 (Newsletter 担当幹事) 大西祥恵 (事務局長)
◇事務センター 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル (株)ワールドプランニング
TEL : 03-5206-7431 FAX : 03-5206-7757 E-mail : jasps@worldpl.jp

【目次】

1. 第 141 回 (2020 年度秋季) 大会 WEB 開催にあたって
2. 2020 年度社会政策学会活動方針 (案)
3. 2020-2022 年期幹事会報告
4. 承認された新入会員

1. 第 141 回 (2020 年度秋季) 大会 WEB 開催にあたって

新型コロナへの対応に道筋がまだ見いだせないなか、「学会活動を止めない」を合言葉に次回の秋季大会を春季大会に引き続き、今期の幹事会判断でオンライン開催とし、春の共通論題だけではなく、自由論題、テーマ別分科会、そして総会も完全オンラインで行う初めての取り組みを行います。どうぞよろしく願いいたします。

◆組織体制とオンライン準備について

開催にあたり、今回は、畠中亨幹事を中心に垣田裕介会員、熊沢透会員をメンバーにした「オンライン技術サポートチーム」を編成し、オンライン開催のマニュアルを作っております。また、今回は全オンライン開催ということで、大会開催校に代わる組織として、先のオンライン技術サポートチームに加えて、学会事務局、新旧秋季大会企画委員会、広報委員会、重点事業担当でオンライン開催実行委員会を組織し、実行委員長として代表幹事である石井が就任しております。どうぞよろしく願いいたします。

学会大会の重要な機能である双方向でのやりとりを確実にするため、配信業者を入れた検討を行ってきましたが、学会が求める水準と価格で、双方向オンラインサービスを提供できないことが分かりました。そこでオンラ

イン開催実行委員会の指示のもと、各報告者・座長の Zoom 操作による配信とすることとし、配信者が各々リハーサルを行うことで問題点を事前に明らかにする方式をとっています。このことで極力、当日のトラブルを減らしたいと考えています。

◆次回秋季大会の応募状況について

報告募集にあたり、Zoom 環境等の応募条件を提示しましたが、お陰様で自由論題 21 本、テーマ別分科会 6 テーマといつも通りの応募がありました。あとは当日双方向で配信できるよう実行委員会一同で準備を進めてまいります。

これまでの学会参加とは異なり、オンライン開催の参加方法や通信環境の確認など、いろいろとお手間を煩わせてしまいかすが、可能な限り丁寧にアナウンスして参りますので、よろしく願いいたします。

また、情報保障の観点から、前回大会で懸案であった視聴覚障害対応についてもオンライン技術サポートチームを中心に対策を検討しております。

なお、学会の一大イベントである懇親会は予定しておりませんが、早く会員の皆様同士のリアルな懇親ができることを切に祈っております。

今回、報告と質疑応答が活発なものになることが、われわれオンライン裏方担当の願いです。委員会一同、盛んなる討論のために環境整備にまい進していきます。どうぞ積極的なご参加をよろしく願いいたします。

2020 年 8 月 1 日

第 141 回 (2020 年度秋季) 大会

オンライン開催実行委員会 委員長 石井まこと

2. 2020年度社会政策学会活動方針(案)*

※秋の大会時の総会で報告し、承認を得る予定。

1. いかなる環境にあっても、学会員の創意と工夫によって学会活動を止めないように運営していきます。
2. これまでの学会活動をふまえ、社会の変化をふまえた研究活動を進めていきます。
3. 新型コロナウイルス感染拡大によって影響を受けている院生会員等若手研究者の研究支援を行います。

3. 2020-2022 年 期幹事会報告

◆ 2020-2022 年 期 第 1 回幹事会議事録

日時：2020年5月24日(日) 17:30-19:00

場所：Zoom 開催

出席：石井、石黒、伊藤、岩永、禹、榎、鬼丸、金井、金子、上村、朱、杉田、所、畠中、兵頭、藤原、水野、森(詩)、森(周)、吉村、大西

欠席：猪飼、熊沢、首藤、田中、布川、松本

オブザーバー出席：阿部、垣田、熊沢(透)

1. 秋季大会オンライン開催の検討状況について

石井代表幹事より、新型コロナウイルス流行の影響を受けて、秋季大会をオンラインでの開催とすることについて、秋季大会開催校であった立命館大学と協議を行い、幹事会の方針を了承していただいている旨、報告があった。秋季大会に向けてオンライン技術サポートチームを立ち上げ、秋季大会企画委員会と事務局の協力のもと、秋季大会のオンライン開催について検討していくことが了承された。

2. ホームページ掲載案の検討

石井代表幹事より、秋季大会がオンラインでの開催になったことにともない5月25日からの予定されていた、秋季大会のテーマ別分科会や自由論題の募集期間と締切を繰りさげることにかんして説明した文案が提示され、おおむね了承された。これにともない、社会政策学会HPにこれまであった秋季大会にかんする記載は最新のものではなくなるため、広報委員より削除していただくこ

ととなった。

3. 各種委員会の引継ぎ状況と各委員会の委員の承認
石井代表幹事より、社会政策関連協議会協議員と、学会史小委員会について現在調整中との連絡がある点、報告がなされた。また、秋季企画委員会に新たに吉村臨兵委員、木村牧郎委員、森周子委員が入る旨、報告があった。

4. 新入会委員について

1名の入会を承認した。

・ 次回の幹事会の日程

次回の幹事会(第2回)は、2020年6月20日(土) 13:00-15:00、Zoomにて開催されることが了承された。

◆ 2020-2022 年 期 第 2 回幹事会議事録

日時：2020年6月20日(土) 13:00-15:00

場所：Zoom 開催

出席：猪飼、石井、石黒、伊藤、岩永、禹、榎、鬼丸、金井、金子、上村、朱、首藤、菅沼、杉田、所、畠中、布川、藤原、水野、森(詩)、森(周)、吉村、大西

欠席：熊沢、田中、松本

1. 推薦幹事・委員の承認

石井代表幹事より、新たに推薦幹事として菅沼隆幹事を推薦するとともに、社会政策関連学会協議会協議員として菅沼隆幹事、吉村臨兵幹事に入っていただく旨、提案がなされ、承認された。

2. 秋季大会オンライン開催について

畠中委員より、秋季大会オンライン開催についての提案がなされ、承認された。秋季大会のプログラムは紙媒体で作成すること、座長を中心としたリハーサルを必ず行っていただくことなどの説明もなされた。春季大会では大学のサーバと個人のモバイル wi-fi などを用意することによって Wi-Fi 環境の確保を行ったことから、秋季大会でも Wi-Fi 環境の確保に努めることが了承された。

3. 秋季大会のテーマ別分科会・自由論題募集要項の確認

金井秋季大会企画委員長より、秋季大会のテーマ別分科会・自由論題募集要項についての確認がなされた。秋季大会がオンラインでの開催になるにあたって、オンラインでの報告についての説明とその形式に対して応募者の理解が確認できる書式を作成しており、若干の文章の修正のうえで了承された。

4. 予算案について

石井代表幹事より、今年度については新型コロナウイルス流行の影響で会計監査が7月15日に予定されており、予算案については作成中であることが説明された。そのうえで、春季大会、秋季大会については大会参加費をとらない方向、今年度作成予定の名簿においては作成するが印刷物の形での送付は行わない方向であることが報告され、了承された。

5. 重点事業について

猪飼幹事より、重点研究についての説明がなされた。社会政策研究者養成の必要性をふまえて、大学院生を支援するプログラムづくりを検討している。とりわけ学会報告については大学院生からの応募が一定数あるものの、論文投稿については数が伸びないことに対する支援を考えている。新たなプログラムの立ちあげにあたり名簿を用いたりリストの作成が求められることから、石井代表幹事がワールドプランニングと交渉することとなり継続審議とした。

6. 部会の廃止について

石井代表幹事より産業労働部会から廃止届が届いているとの報告があった。これまで部会については廃止の手続きがなかったため、幹事会で廃止届を回覧する形をとることで認めることになった。

7. 各委員会からの報告

・春季大会企画委員会

上村幹事より、共通論題のテーマを「パンデミックと社会政策の未来」とすることが報告された。テーマについてはなるべく大きなテーマにし、同じ問題に対して異なる角度から検討していきたいとの説明がなされた。

・広報委員会

金子幹事より、ホームページに掲載する情報を送っていただくよう呼びかけがなされた。

8. 会員入会について

4名の入会が了承された。

・次回の幹事会

次回の幹事会（第3回）は、2020年7月18日（土）13:00-16:00、Zoomにて開催されることが了承された。

◆ 2020-2022 年期 第3回幹事会議事録

日時：2020年7月18日（土）13:00-16:00

場所：Zoom 開催

出席：猪飼、石井、石黒、伊藤、岩永、禹、榎、鬼丸、金井、上村、朱、首藤、菅沼、杉田、田中、所、畠中、兵頭、水野、森（詩）、森（周）、吉村、大西

欠席：金子、熊沢、布川、藤原、松本

1. 秋季大会企画委員会報告

金井秋季大会企画委員長より、志賀信夫会員に委員を委嘱することが提案され、承認された。第141回共通論題は、タイトルを少し修正し「仕事の世界における権力関係とハラスメント」となった。自由論題22本、テーマ別分科会6本、書評分科会2本の実施が承認された。秋季大会はオンラインでの開催となるため、Zoomの使い方やオンライン学会における報告・質疑応答の仕方、参加の際のルールなどについて、プログラムやプログラムに挟み込む資料に記載することになった。

2. 名簿作成について

石井代表幹事より、今年度は名簿作成の年にあっているが、これまでのように紙媒体ではなく、データにパスワードをかける形での作成することが説明され、了承された。会員に名簿の記載情報を確認いただくにあたっての案内文の内容を含めて、秋季大会が終わってから本格的に検討を始める。そのため、今年度はいつもの作成スケジュールより後ろ倒しの日程で作業を行うことになる。

3. 予算案について

大西事務局長より、7月15日に新型コロナウイルスの

流行の影響を受けて延期されていた、前年度の会計監査が終了し、それを受けて今年度の予算案の作成を進めている旨、説明があった。今年度は、春季大会、秋季大会ともにオンライン開催になったことによって大会参加費を徴収しないことによる収入の減少、春季大会、秋季大会ともにオンライン開催によって費用が削減される点、幹事会のオンライン化にともなって旅費が削減される点、名簿のデータ化により費用が削減される点から支出の減少がなされる予定である。継続審議とし、次回幹事会で最終的な予算案を決定することで了承された。

4. 第141回大会若手研究者優秀賞の選考委員について

石井代表幹事より、秋季大会のエントリー状況から対象者が約10名いる点、今後選考委員を5名委嘱する予定であることが報告された。

5. 重点事業について

猪飼幹事より、重点研究の進捗状況についての説明がなされた。現在、院生の支援と会員向けアンケートを検討しており、前者については研究会の開催を予定している。支援を行うにあたっては、指導教員との関係を配慮する。また、院生の支援については当初「若手」という言葉がついていたが、年齢にかかわらず院生の支援を行うことが確認された。

6. 各委員会からの報告

・学会誌編集委員会

鬼丸学会誌編集委員会委員長より、12巻2号、12巻3号、13巻1号の編集作業についての報告がなされ、テーマ別分科会からの応募が減少傾向にある点が説明された。ただし、第140回大会のテーマ別分科会はほぼすべて中止になったものの、第141回大会ではテーマ別分科会が6本予定されているため、今後は応募が増えることが期待される。また、森（詩）学会誌編集委員会副委員長より、このところ投稿論文の採択率が伸び悩んでいる点についての報告がなされた。これを受けて、学会誌編集委員会より投稿をよびかける旨、お願いがなされた。

また、若手研究者優秀賞を受賞した論文については、選考委員会によるコメントを受けて受賞者が修正を行ったうえで学会誌に掲載されることになっている点、確認

がなされた。

・春季大会企画委員会

上村春季大会企画委員会委員長より、共通論題「パンデミックと社会政策の未来」の準備が進められている旨、報告がなされた。座長は菅沼隆会員、報告者は感染症と社会政策の形成をテーマとして榎一江会員、オンライン労働と社会保障をテーマとして仲修平会員、ケアワークとケアサービスをテーマとして落合恵美子先生（非会員）、感染症をめぐる国際協力をテーマとして詫摩佳代先生（非会員）に決定している。また、討論者については現時点では未定となっている。

・国際交流委員会

朱国際交流委員会委員長より、例年秋に中国の社会政策学会と交流を行っていたが今年は中止となったこと、オンラインでの分科会を企画していることが報告された。また、韓国社会政策学会も同様に今年度は延期が続いており、開催可能になれば予定されていた代表幹事を派遣することになるとの報告があった。今井順会員を国際交流委員会のメンバーとすることが提案され、承認された。

・前春季大会企画委員会

鬼丸前春季大会企画委員会委員長より、140回大会の共通論題の質疑について情報保障ができていない点、ご批判があったものの、当日情報保障を行うことが技術的に難しかったため、旧幹事会にて、学会終了後、速やかに文字情報にまとめて学会ホームページにアップロードすることが決定されており、その準備が進められている旨、報告があった。ファイルはパスワードをかけることとし、アップロードは141回大会までの期間となっている。

・学会史小委員会（解散）

石井代表幹事より、学会史小委員会は『社会政策学会 戦後再建70周年記念誌』の刊行を終え、解散する旨、報告がなされた。また本記念誌について、情報保障のためにテキストファイルを送ってほしいとのご要望があり、すでにテキストファイルを送っている点、説明がなされた。

7. その他

・部会への事務局からの連絡について

石井代表幹事より、事務局より費用の請求連絡先のご案内、部会の経費の使い方について連絡を一度行う旨、報告がなされた。

・ニューズレターの発行について

石井代表幹事より、ニューズレターの発行の準備を進めている旨、報告がなされた。

8. 会員入会について

7名の入会が了承された。また、1)入会申込書類をかなり時間に余裕をもって郵送されたものの、事務局ポス

トに届かなかった(当該大学内で不明になったと思われる)申込について、改めて申込書類を送ってもらい、後日改めて幹事会にてメール稟議に諮ること、2)新型コロナウイルス流行の影響で推薦署名がないことにより申請を断念していた申込について、推薦署名が得られない場合は幹事会にて幹事が記入することができるため、こちらについても申込書類を送ってもらい、後日改めて幹事会にてメール稟議に諮ることが了承された。

・次回の幹事会

次回の幹事会(第4回)は、2020年10月23日(金)14:00-17:00、場所については埼玉大神田キャンパスとZoomにて開催されることが了承された。

4. 承認された新入会員

氏名	所属	専門分野
高橋涼太郎	慶応義塾大学大学院経済学研究科	その他
恩田直人	一橋大学大学院社会学研究科	社会保障・社会福祉
柏木綾	同志社大学大学院社会学研究科	社会保障・社会福祉
石堂峻生	大阪市立大学大学院生活科学研究科	社会保障・社会福祉
佐々木寛明	筑波大学大学院産業精神医学・宇宙医学グループ	労使関係・労働経済
中野航綺	東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻	社会保障・社会福祉
小畑美穂	同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻	社会保障・社会福祉
川島典子	福知山公立大学地域経済学部	社会保障・社会福祉、ジェンダー・女性
半田諒志	一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻 総合政策研究分野	社会保障・社会福祉
大泉啓一郎	亜細亜大学アジア研究所	社会保障・社会福祉
寺澤さやか	東京大学大学院教育学研究科/日本学術振興会	ジェンダー・女性、生活・家族
小高由起子	中央大学大学院経済学研究科経済学専攻	労使関係・労働経済、社会保障・社会福祉
NOH SUNGCHUL	埼玉大学大学院人文社会科学研究科	労使関係・労働経済